

人体の構造と機能 I	1 年・前期	1 単位 15 時間	助教 倉林 梢
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32110211

1. 授業のねらい・概要

看護学生が看護の対象である人間を理解するためには、その生物学的側面である人体の構造と機能を学習する必要がある。人体の構造と機能の科目では、解剖学と生理学を結びつけて学習し、学生が複数の要素を理論的にまとめた内容として理解できるようになることを目的とする。I では、解剖学総論、個体を外界から守るシステムとしての皮膚、血液、免疫系について学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 学生が看護の対象である人間理解に必要な解剖生理学の重要性を説明できる。(D-1)
2. 学生が人体の部位や方向や面、腔所、器官と器官系といった解剖学用語を説明できる。(D-2)
3. 学生が人体の構成する 4 種の組織の定義、役割、構造を説明できる。(D-2)
4. 学生が個体を外界から守るシステムとしての皮膚の役割と構造を説明できる。(D-2)
5. 学生が個体を外界から守るシステムとしての血液の構成成分とそれぞれの役割を説明できる。(D-2)
6. 学生が個体を外界から守るシステムとしての免疫系の意義と免疫形式、細胞や抗体の種類とそれぞれの役割を説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが、動画の視聴や参考資料のプリントの配布も行う。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、リフレクションペーパーによるリフレクションを毎回行う。

【ICT 活用の有無】

ICT 活用の実施：Googleclassroom 等による、学習課題や教材の提示、課題の解説等。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	全身像 P14～33	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林梢
2	細胞と組織（主に組織）P64～83	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
3	皮膚と膜 P438～463	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
4	血液 1) P148～161	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
5	血液 2) P162～172	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
6	免疫系 1) P464～474	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林
7	免疫系 2) P475～487	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を振り返る。	倉林

			業内容を振り返る。	
8	体温調節 P488～496, 定期試験	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：授業資料および、テキストを用いて授業内容を振り返る。定期試験で間違えたところを確認し、授業資料やテキストを用いて正しい知識をまとめる。	倉林

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）100%の結果のみで評価する。成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した評価観点毎に、ルーブリック評価（到達はA評価）とする。ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：武田裕子，林正健二編（2023）ナースング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学（第5版）メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について90分の予習及び、授業内容について90分以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、許可の無い教室の出入り、授業に関係ない言動（携帯電話使用等）は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と解答は後日掲示、またはGoogleclassroom等を用いて解説する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。（学生便覧・履修要項参照）

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。